



宇多津町は坂出市と丸亀市の間に位置し、北には海、東西には低山、中央には河川が流れる沖積平野が広がっています。沿岸部はかつての塩田が市街地化し、高い人口密度を保っています。また、山の麓には木造住宅を中心とした旧市街地が広がり、町南部の田畑では住宅建設が活発です。この小さな町では、現場への到着が早い一方で思考を巡らせる時間が短いため、これまでの経験を活かし、臨機応変に活動しています。



## 宇多津町TOPICS

- ★出初式では、事故車両に閉じ込められた要救助者がいる想定で、救助の展示訓練を行っています。
- ★水損のリスク軽減のため、使用する水の量を減らし、窒息効果によって消火できる泡放水設備を整備しています。
- ★溺水時には給水車として活動するため、定期的に水槽車のタンク内を清掃しています。
- ★水道が遮断された際に利用できる飲料水兼用の貯水槽（4万リットル）を、町内2カ所に整備しており、給水訓練も行っています。

## 団員 interview



【第1分団】  
團友 慎太郎さん



### ■消防団としてどのような活動をしていますか？

消防団では、消火活動や事故処理、予防活動を行っています。初めての現場に向かった時、自分には何もできないと後ろ向きになっていましたが、先輩たちの姿を見て自分のできることをしようと前向きになりました。火気厳禁の場所での花火による火災や事故処理中の渋滞解消などを経験し、日々の活動から、啓発の大切さや消防団の重要性を感じています。

### ■消防団活動の魅力は何ですか？

消防団の魅力は、地域社会との繋がりを築けることです。若い頃は人との関わりを煩わしく感じることもありましたが、年齢を重ねるにつれ、人と関わることの重要性がわかるようになりました。火災や風水害といった非常時に団員と共に過ごすことで、親近感や連帯感が生まれ、ともに困難を乗り越えた経験がとても大切になっていくと感じています。

### ■消防団への入団を考えている人にアドバイスをください！

消防団への入団を迷っている方には、まず関わってみることをおすすめします。消防団に興味を持ったその気持ちを、ぜひ大切にしてください。現場活動には危険が伴いますし、ためらいもあるかと思いますが、活動を続けるうちに、できることは増えていきます。いざという時、家族や地域のために動けるようになりますよ。

## 消防団の活動状況



### 中高層火災

水損防止を一番に考え、必ず50mmホースを使用し、水量は毎分200L以下とします。泡消火を行い、下層階への水損に十分留意しています。



### 自傷事故防止

消火活動時間にゆとりが持てるように、面体を150キロから300キロに変更し、小型排風機や大型ブロアーなども利用して自傷事故が起きないように留意しています。



### 視察研修受け入れ

県外からの視察研修を受け入れています。これにより私たち自身の消防活動も、バージョンアップが図れています。